

意見書案第 2 号

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の抜本的対策強化を求める意見書案

上記の意見書案を提出する。

令和 8 年 10 月 7 日

提出者 小 川 隆 史

賛成者 角 井 英 明

賛成者 堀 口 達 也

賛成者 中 野 正 剛

賛成者 森 野 克 彦

賛成者 矢 吹 安 子

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の抜本的対策強化を求める意見書

クビアカツヤカミキリは、2012 年に初確認されて以来、国内で分布を広げ、サクラ・モモ・スモモ・ウメ等の樹木を食い荒らして枯死させる害虫であり、中国等を原産とする特定外来生物です。

被害の概要としては、当該果樹を加害して甚大な農業被害をもたらすことや在来の様々な樹種を食害するため生態系にも影響を及ぼすというものであります。また、公園や街路樹などのサクラが加害されると当該樹木の伐採を余儀なくされることもあり、誇るべき桜の名所も姿を消してしまうことも考えられます。さらには、各地で食害が進むと枝が落ちたり木が倒れたりすることで、周辺を通行する市民が怪我をする恐れもあります。

そのようなクビアカツヤカミキリは、近年、多くの都府県において発見される状況にあり、滋賀県では 2025 年 7 月に初めて長浜市内で確認され、甲賀市内においても今年 4 月および 5 月に確認をされました。さらには、今年 7 月にも米原市内および大津市内においても存在が確認されています。

このような状況の中で、市内にさらにクビアカツヤカミキリが侵入、定着すれば各種産業や豊かな生態系、場合によっては市民の身体に影響を及ぼす可能性が非常に高いものであります。特

に、彦根城はサクラの名所であるほか、サクラ等を地域資源として活用されている市内地域にも大きな支障が生じることとなり、早急な対策を講じる必要があります。繁殖力が非常に強く、対策が取られていない地域があるとそこから急速に周辺に分布が拡大するということが懸念点です。

現在、一般的には被害地域では発見、捕殺、伐採およびネット被覆等の対策が講じられていますが、被害は依然として拡大傾向にあります。クビアカツヤカミキリの脅威が迫る中、地方公共団体のみの対応で侵入を防ぐことは、極めて困難であり、広域的かつ一体的な対策や効果的な防除技術、防除体系の確立が急務となっています。被害が発生してからの対応ではなく、被害を発生させないための予防的な対策こそが重要であります。

このことから、国におかれては、クビアカツヤカミキリによる被害の拡大防止と地域農業および住民生活を守るため、次の事項について早急に取り組まれることを強く要望します。

記

- 1 被害を全国的な重要課題として位置づけ、既存の施策に加えて、国が主導する実効性のある広域的な対策を確立すること。
- 2 農林水産省、環境省、国土交通省および関係機関の連携強化と地方公共団体等との密接な連携を図り、被害地域および未侵入地域を含めた一体的なまん延防止対策を講じること。
- 3 対策に係る試験研究については、国が中心となって防除技術の開発を加速させること。
- 4 地方公共団体および各事業者が継続的かつ効果的な防除対策を実施できるよう、十分かつ安定的な財政支援措置を講じること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 8 年 10 月 7 日

彦 根 市 議 会

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

内閣総理大臣 殿

内閣官房長官 殿

総務大臣 殿

財務大臣 殿

農林水産大臣 殿

国土交通大臣 殿

環境大臣 殿